

同志社大学

2013年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2014年5月12日提出

所 属	職 名	氏 名
経済学部	教授	和田喜彦
研 究 題 目	エコロジカル・フットプリント等の持続可能性評価指標および原子力エネルギー、レアアース製錬等の管理手法・影響評価についての研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>エコロジカル・フットプリント指標については、WWF、グローバル・フットプリント・ネットワーク、エコロジカル・フットプリント・ジャパンとの共同研究の成果を『バイオシティ』という雑誌に掲載された2本の論文として発表した。</p> <p>レアアース製錬工場の環境影響については、まず、5月にオーストラリアでのレアアース・シンポジウムにてエイジアンレアアース社事件について口頭発表した。11月には、マレーシアで開催された国際シンポジウムにて口頭発表を行った。また、ライナス社のレアアース製錬工場付近で第二回目の調査を実施した。それらの結果を『経済学論叢』に発表した。</p> <p>口頭発表も含め、2013年度の研究成果の発表は以下の通りである。</p> <p>和田喜彦。2014年。「レアアース製錬に伴うトリウム等の放射性廃棄物管理に関する一考察—エイジアンレアアース (ARE) 社事件, ライナス社問題を事例として—」『経済学論叢』(同志社大学) 第65巻第3号, pp. 241-263。</p> <p>和田喜彦。2013年。「エッセー：襄・八重・覚馬の闘い 私の闘い」『チャペルアワー案内』No. 222 (同志社大学キリスト教文化センター)</p> <p>Wada, Yoshihiko. 2013. "Taking Advantage of Japanese Government's 'Environmental and Social Guidelines' and 'HSE Policy' to Prevent 'Pollution Export': Lynas Refinery Radioactive Thorium Controversy in Malaysia" An Invited presentation at an international symposium, "Building a Safer Malaysia." Held in Kuala Lumpur on November 24.</p> <p>和田喜彦、伊波克典。2013年。「限りある資源②：エコフット分析の考え方、計算方法、できることとできないこと」『バイオシティ』56号, pp. 26-35。</p> <p>和田喜彦。2013年。「基調論文：エコロジカル・フットプリント開発の背景とその意義」『バイオシティ』56号, pp. 13-19。</p> <p>Wada, Yoshihiko. 2013. "A Radioactive Thorium Pollution Case in Malaysia: Asian Rare Earth Incident Revisited." An invited oral presentation at the Rare Earth Symposium, held at Sustainable Minerals Institute, University of Queensland, Brisbane, Australia on May 31.</p>	